

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP



発行：平成30年8月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

8

August 2018

■平成30年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 杉内 勝成
有限会社 杉内

7月初旬の西日本における「平成30年7月豪雨」により甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。鳥取YEGとしても、鳥取県青連、日本YEGとともに支援を行うことといたしました。一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、各地で納涼祭が開かれる季節となりました。「納涼」とは、夏の盛りの暑さを避けるために、涼しさや過ごしやすさを工夫して創り出し、味わうことです。

夏の風物詩の一つに風鈴があります。私も心地よい音色に暑さの緩和を感じていますが、これは「ムムラギ」の効果によるもので、耳にすると生体リズムと共鳴し、脳が錯覚によってリラックスした状態になり涼しいと感じてしまつてつです。この「ムムラギ」は、その風や小川のせせらぎなど自然界にたくさん存在している、五感を通して感知すると、自律神経が整えられ、精神が安定し、活力が湧くと考えられています。今年度40周年を迎える我々も先人の知恵に学びながら、メンバー一同暑い夏を乗り切りたいと思います。7月3日、日本YEG内田会長の強い要望で、全国各地の商工会議所青年部

(415名)の会長、道府県連会長、日本商工会議所青年部出向者が一堂に会し、史上初となる「全国会長会議」が東京で開催されました。

「先輩経営者の視点から青年経済人に伝えたいこと、期待すること」と題した、日本商工会議所・三村明夫会頭の講話の中で、三つ印象的な言葉がありました。「社長とは人生をかけるポジションである」「情勢を見て自分なりの仮説を持ち、変化に対応する」「問題に真正面から立ち向かい、正道を行くことが大切である」です。忙しい日々の中で、忘れてしまいがちな大切なことを改めて胸に刻むと共に、日商トップの説得力あるお言葉に深く感銘を受けました。

また、ディスカッションでは「年頭に掲げた自分の方針と現状について」をテーマに、単会活動の経過や現状の悩み、商工会議所青年部や地域社会が直面する課題等について意見交換を行いました。昨年、出雲での会長研修会から6月1日ぶりにお会いする会長の皆さんとの会話は「心配や不安」から「熱意と使命感」に変わっており、私もモチベーションが上がりました。その後の政策提言と中期ビジョン策定研修会では、日本YEGと各単会の実例の解説がありました。鳥取YEGも7月例会「いなばの風会議」の意見を参考に、今年度も行政への政策提言を予定しているほか、創立45周年に向けた中期ビジョンの策定もやります。今回の会議で得た知識を基に、今後の青年部事業に反映し組織の活性化と一層の充実に役立てたいと思います。

今後も我々鳥取YEGは、鳥取の未来のため、鳥取商工会議所活動の一翼を担い活動してまいりますので、会員企業の皆様の引き続きのご理解ご協力をお願いいたします。

7月例会：ふるさと鳥取いなばの風会議

日時 平成30年7月19日(木) 18:30～20:30
場所 鳥取商工会議所 大会議室

7月例会は、政策提言委員会が主管となり昨年度に引き続き、鳥取県・鳥取市より計22名の行政職員の皆さまをお招きし、第2回「ふるさと鳥取 いなばの風会議」を開催しました。

風会議は、お互いの立場・肩書きにとらわれないこと、官と民の壁を取り払い、お互いの「風通し」をよくし、「鳥取の商工業の発展、鳥取をより良くしていく」ための情報・意見交換など本音で交流する「場」を設けるために企画しました。

今年は、雇用促進・子育て支援・女性活躍・中心市街地活性化・観光・教育・広報情報発信・少子化・起業支援・交通と10のディスカッションテーマを設定し、グループ分けをしました。各グループの司会進行は政策提言委員会メンバーが努め、1グループ10名程度で60分間、意見交換しました。60分という短い時間ではありましたが、活発な意見が飛び交い、とても充実したディスカッションとなりました。例会の様子は、鳥取YEGのホームページ内の政策提言委員会ブログをご覧ください。

風会議終了後は、グループごとに会場を移し、交流会を開催。交流会でも風会議と同様に活発な意見交換・議論がなされ、繋がりがさらに深まったと思います。この度いただきました貴重なご意見は、政策提言委員会内で集約・協議いたします。この度は大変お忙しい中、7月例会にご出席して頂きまして行政職員の皆さま、本当にありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。今後、この風会議で吹いた「風」を私達は絶やすことなく、活動してまいります。

政策提言委員会 副委員長 松島 新太郎



各グループ発表の様子



ディスカッションの様子

第2回鳥取YEGCGF鳥取YEGOB合同ゴルフコンペ・鳥取県商工会議所青年部連合会親睦ゴルフコンペを開催しました

ゴルフコンペを開催しました

6月16日(土)に「第2回鳥取YEGCGF鳥取YEGOB合同ゴルフコンペ」を旭国際浜村温泉G・Cにて開催いたしました。5名のOBを含む総勢23名、6組のコンペとなりました。天候にも恵まれ珍プレー、好プレー続出のラウンドとなり、笑いの絶えないラウンドとなりました。今回はCGF(ゴルフ同好会)のオリジナルポロシャツの初のお披露目の場となり、OBの皆様にも大変好評でした。表彰式で、今回ご参加OBの皆様にもオリジナルポロシャツを贈呈させて頂き、次回ラウンドでの再会を誓い、コンペを閉会いたしました。その後、「しゃんしゃん亭」に場所を移し、懇親会を開催しました。OBの方々との交流を存分に楽しんだ充実の1日となりました。

そして、7月8日(日)には「鳥取県商工会議所青年部連合会親睦ゴルフコンペ」を大山アークC・Cにて開催いたしました。鳥取・倉吉・米子から総勢32名の参加を頂き、8組に分かれ熱戦を繰り広げました。大雨の影響の心配もありましたが、無事に開催する事ができました。鳥取県連では初めての試みでしたが、各単会のメンバー同士の交流を深める事ができました。表彰式内では荒田委員長より「鳥取YEG40周年記念事業」のPRをして頂きました。今後、各単会では様々な事業が予定されています。この度のゴルフを通じ、交流を深め合い、今後のYEG活動を盛り上げていき、鳥取県の発展の為に一役を買って下さると改めて感じました。

最後になりましたが、会員の皆様、OBの皆様には多大なるご協賛を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。この場をお借りしてお礼のご挨拶をさせて頂きます。本当にありがとうございました。Life is what you enjoy!!(楽しんでもん勝ち※H30年度CGFスローガン)

ゴルフ同好会副会長 岡田 悠



YEGOB合同コンペ参加者



YEGOB合同コンペ表彰式での同好会会長挨拶



鳥取県連コンペ参加者

県議会・市議会を傍聴しました

今年度の政策提言を行うにあたり、県政・市政がどのように動いているのかを勉強する一環として、6月県議会及び6月市議会を傍聴してきました。

まず驚いたのは県議会の傍聴人の多さです。平日の午前中から昼にかけての議会ということで、傍聴人はさほど多くないのではないかと傍聴前には思っていました。が、県政・市政に興味を持つている県民・市民の方が多いことを改めて実感しました。

また、初めての傍聴でしたので、議会がどのように進行するか把握していなかったのですが、県議会・市議会ともに議員から県政や市政に関する質問がなされ、県知事・市長及び行政職員の方々が質問に回答するという形で進められていきました。様々なテーマに関する質問がされ、それに一つ一つ丁寧に回答されているのが印象的でした。

そして、県議会では、鳥取YEG所属の坂野経三郎議員に鳥取YEG事業にも質問の中で触れていただきました。昨年度の企画運営委員会が作成した星取県に関するPR動画についてです。鳥取県を外部に発信していく手法の例として挙げていただきましたが、鳥取YEG事業を公の場で取り上げていただいたことに、とても誇らしい気分になりました。

今回の傍聴では県知事や市長そして各議員の方々の鳥取県・鳥取市をより良くしていきたいという熱を感じる事ができ、我々も青年経済人の集まりとして鳥取市、そして鳥取県のために何が出来るのかを考えていかなければならないと改めて思われました。

政策提言委員会 委員長 中崎 雄一



本会議場内の様子



質問する坂野経三郎議員

新入会員



西川 征和 君
(にしかわ ゆきかず)
事業所名 (有)ラブアンドピース
所属委員会 会員交流委員会

鳥取YEGでは
鳥取を
盛り上げる方
募集中!!

鳥取YEGは、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張りませんか?! 企業と地域を活性化させましょう! お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL:0857-26-6666

(鳥取商工会議所青年部 事務局)